

の1回交付となる予定です。

委員からは、「減額となつて出生率の低下を招くのではないか」「すべての子育て世帯に助成できないか」などの意見が出されましたが、理事者は、「すべての子育て世帯を広く支援していくためにも、すくすく育成奨励金の制度を改正し、子ども医療費助成の自己負担無料の対象を拡充していきたい」と答弁しました。

子ども医療費助成の改正内容としては、平成29年度から小学6年生まで医療費の自己負担を無料としたい旨の説明がありました。これまでは、1医療機関あたりの自己負担限度額は、入院の場合1日500円、月4千円でしたが、これからは無料となる予定です。

B型肝炎予防接種について

予防接種法施行令の改正により、平成28年10月1日から、B型肝炎予防接種が定期の予防接種になりました。対象者は平成28年4月1日以降に生まれた0歳児（母子感染予防のために、生後すぐに接種している乳児は対象外）公費の負担は1回5千900円で自己負担は無料です。委員からは、国県市の負担割合について質問があり理事者からは「地方交付税で措置される」との回答がありました。



建設産業委員会

■今定例会の審査結果

審査の結果、議案3件についてはすべて可決しました。また陳情1件については不採択としました。

「一般県道勝山インター線（勝山恐竜橋）」開通式について

福井県が事業を進めていた一般県道勝山インター線と九頭竜川に架かる「勝山恐竜橋」が平成28年11月6日開通となります。当日は開通記念式典とイベントが開催され、橋の渡り初めと、開通記念ウォーキングが行われます。また地元区民の振る舞い等も予定されています。

あさひ公園複合遊具設計・施工に関するプロポーザルについて

あさひ公園の木製複合遊具は、設置から16年程度経過して腐食等劣化が著しく、危険な状態のため、現在使用を禁止しています。子どもたちにとって安全で楽しく夢のある多様な遊びができる複合遊具の復旧にあたっては、決められた事業費で最大限の効果を得るため、プロポーザルにより設計施工業者を選定しました。

委員からは、「コンクリートの壁について、壁に絵を描くのか、撤去するのか」という質問があり、理事者からは、「綺麗にして恐竜の絵を描く予定です」との答弁がありました。



高さ 約3・2m

あさひ公園複合遊具のイメージ1（3歳～6歳用(案)）

おもてなし商業エリア創出事業について

北陸新幹線の金沢開業、福井国体の開催を踏まえ、県内外からの誘客に対応するための県のおもてなし商業エリア創出事業（ハード事業）を活用して、これまで市では個店の改修補助を行ってきました。今後はソフト事業として、施設ガイドブックの作成・配布、商品開発・地場産品支援、おもてなし施設イルミネーション事業などへの支援をしていくとのことです。

委員会では、書類申請の煩雑さについて、情報発信についてなど、周知が行き届いていない点を指摘しました。



高さ 約8・7m

あさひ公園複合遊具のイメージ2（6歳～12歳用(案)）

特別委員会

誘客拠点整備に関する特別委員会

6月定例会以降7月29日、8月29日及び9月23日に委員会を開き、理事者から詳細な説明を聴取し議論しました。

委員会では、勝山市道の駅「恐竜深谷ジオパーク（仮称）」基本計画協議会で取りまとめられた、道の駅の基本計画について内容を確認しました。

委員からは、特に利用者の安全に配慮することや防災対策について意見がありました。

また、長尾山総合公園の観光交流センターの整備については、7月29日、